

1.みつば保育園仮園舎について

仮園舎の図面を提示し説明を行う。面積は644m²、建設費用は2億8千万円、6月議会に提案し、予算議決後、発注を行う予定。トイレ、プール等取り外しが出来るものは取り外して新園舎へ持って行く予定である。新園舎建設後は引っ越しを行い、仮園舎は改修を行い図書館として利用する。

2.今後のスケジュールについて

6月議会に提案し予算が議決されれば、6月中に入札を行い、7月から工事に入り、完成は6年3月を予定している。仮園舎の建築期間中に宅地造成と旧園舎の取り壊しの設計を行っているので、宅地造成の面積が決まれば新園舎の設計の発注を行い、完成は年度末を予定。順調にいけば、新園舎の工事に4月から取り掛かっていきたいと考えている。完成は8年度の秋頃を予定している。

委員 仮園舎の発注業者はどうなるのか。

事務局 指名願いが出てきている町内の業者と本山町の建築業者になるのではないかと考えているが、決定しているわけではない。

委員 仮園舎への入り方はどうなるのか。

事務局 改善センターの駐車場に止めて、改善センターの南側を歩いて仮園舎に行き、4・5歳児は南側から入る。2・3歳児は正面玄関から入る。0・1歳児は北側の駐車場に止めて、北側玄関から入るようになると思われるが、これから保育の保護者会役員会などで話し合ってもらいたいと考えている。

委員 プールの横を歩いて園児を各部屋に入れるのか。

事務局 北側のウッドデッキの所から遊戯室を通り各部屋に入るようになるのではないかと考えている。

委員 駐車場は改善センターの駐車場を利用するように考えているのか。

事務局 そのとおりです。

委員 狭くないですか。

事務局 職員は別の駐車場を検討しているので、改善センターの駐車場で足りると考えている。

委員 駐車場への入り口は1つですか。

事務局 入り口は改善センターの西側に2か所と東側に1か所あるが、多くの車の出入りが予想されるので、保育士と保護者役員会等で検討してほしい。

委員 下駄箱はどんな感じですか。

園長 避難のことも考え、靴箱に入れずに箱などに入れて対応するように考えている。新園舎を建築するとき必要ならば検討する。

事務局 仮園舎の屋根に太陽光パネルを設置し、蓄電池も設置して節電を行い、ZEB事業に対応したものとし、補助金を3千万程度と予想している。

委員 改善センターの屋根もあり日当たりはどうか。

事務局 改善センターの屋根は邪魔にならず、日当たりは問題ないと考えている。

委員 太陽光を設置するので熱がこもると思うので、屋根の材質は気を付けたほうが良い。他でも屋根の塗装が熱ではげたともある。

事務局 設計会社に話をしておく。

委員 今話し合うことではないが、近所に同世代の子どもがおり乗り合わせで行くことも考えていて、駐車場が狭いなど混むのであれば、仮園舎の間だけでも他の保護者が連れて行っても保育園で受け入れをしてもらえないか。

園長 一緒に来ても途中で帰らなくてはならない場合とか色々なことが想定されるので難しいかもしれない。

3.視察について

3月4日に四万十市川崎保育所と、認定こども園ひかりこども園の視察について資料をもとに説明を行う。参加できていない方もおいでますが、事務局として、今後の視察は予定していません。

委員 今まで視察した中で、保育士は何が必要なのか不要なのかイメージが出来ていると思うので保育士からの意見を出してもらいながら、検討委員会の委員からも意見を出しながら進めていったほうが良いのではないかと。これから視察に行っても真新しいものはないのではないかと。と思う。

事務局 プロポーザル方式で入札を行うのではなく、通常の入札を行い、保育士の考えた部屋の配置等を提示し、それをもとに設計をしてもらえば、自ずと良いものができるのではないかと考えている。これは個人的な意見なので、教育委員会内でも検討をして何が良いかを考えていきたい。

委員 いつごろまでに話をすれば良いですか。

事務局 7月中に話を取りまとめ、8月に入札をするような段取りになるのではないかと。

委員 測量して上の面積が大体決まれば、園舎の形も決まってくるのではないかと。

事務局 広さが決まれば園舎の配置の仕方を考えるだけになると思われる。

委員 視察に行くよりは配置とかに時間をかけたらよいと思われる。

事務局 そういった形で進めていきたいと。7月ごろに検討委員会をできればと思います。

委員 せっかく建設するのだからみんなが使い勝手が良いものを建設できたらと思います。

事務局 委員が考えているものと保育士が考えるものは若干のズレがあると思うので、保育士が一番分かっているので保育士に任せておいて構わないと思う。

委員 他に委員の皆さんから意見等はございませんか。

委員 保育園を避難所にできないか。誰でも受け入れる避難所ではなくて、乳飲み子を抱えている人や小さい子供がいる家庭だけでも受け入れる避難所にできないですか。通常の避難所での生活は厳しいことが想定される。

事務局 大地震が発生した場合は、職員も被災するし人手も足りないことが想定され、物資にしても計画通りに配給できないことが想定される。発災直後は例えば土佐町小中学校の体育館で全員が避難し、その後2次避難でほかの場所での避難所生活になってくるのではないかと。と思われる。

委員 2次避難の時で構わないので検討してもらえないか。夜泣きとか母乳をあたえとか、おむつ交換とかもあるので、大変だと思う。

事務局 担当課に聞いてみます。

委員 改善センターが現在避難所になっているので、将来的には仮園舎が図書館になればそういった避難所になることは可能かもしれない。

委員 集落活動センターにおむつ交換台のあるトイレを設置してほしいと要望して設置をされている。

町内でそういった施設があれば助かるし、これからの避難所にもこういった施設があれば助かる。

委員 設置する場所にもよるが避難所で設置をしても完全な個室は難しいかもしれない。パーティションで区切っても上は空いてるので臭いとか鳴き声とかは防げない。津波避難タワーは専用に設計されており、個室とかにもなるようになっている。既存の建物を改修するとなると大規模な改修となるので大きな費用がかかる。ワンタッチテント等に対応するほうが現実的だと思われる。

事務局 次回までに担当課に聞いて回答するようにします。

委員 これからも情報共有をしてもらいたいし、仮園舎での保育生活が始まるまでに早めに決めなくてはならないこともあるので、協議をしていきたいと思います。